



日向こども見守り隊対面式

登下校を見守る皆さんと子どもたちが対面

日向こども見守り隊

6月18日、日向小学校で「日向こども見守り隊」の皆さんとの対面式が行われました。隊員数112人中、29人の隊員の皆さんに、全校児童が歌のプレゼントを行い、地域の方々との交流の場として有意義な時間を共有することができました。市内3番目の発足となった見守り隊は、特別なパトロールを望むものではなく、散歩の折や、仕事の合間等に腕章を身につけ、子どもたちを温かく見守っていきます。

中米ベリーズの情操教育に向けて出発

青年海外派遣隊員の高橋由美さん

日本と開発途上国の人々を結ぶ架け橋として、互いの知識や栄研を活かした協力をすすめ、平和で豊かな世界の実現をめざす「JICAボランティア」は、2年間、途上国で教師や技術者としての草の根レベルの技術協力に励みます。

今年度第1次隊に参加する高橋由美さん(白幡)は、大網白里町の増穂小学校で働く現職教諭です。学生時代から、「世界の人の暮らしを、一緒に住むことで感じたい」という夢を持ち続け「海外で学んだことを日本の子どもたちに伝え、少しでも国際教育の橋渡しをしていかなければと思っている」と豊富を語りました。

派遣国は、メキシコの近くベリーズという小さな国(日本の四国ほどの面積)で、イギリス領のホンジュラスから1981年に独立した新しい国です。席を置くコンパッション小学校は、日本の小学校1年生から中学校3年生にあたる子どもたち64人が在学する複合学校です。

インターネットや、得意な図工を通じて子どもたちと情操教育を育みたいという高橋さんに、「現地でしっかり自分を見つめること、また病気に気をつけて行ってらっしゃい」と市長からメッセージが送られました。



6月20日、出発前に市長を表敬訪問した高橋さん(左)



どれ、おいちゃんもひとつ食べてみようか

すいかの甘さに思わず笑みが!

～すいかまつり～

松尾町朝市組合が行う恒例「すいかまつり」は7月5日、松尾ふれあい館駐車場で行われました。大きく甘く熟したすいか30玉が用意されましたが、記録的な暑さを記録した週末の会場ではあっという間に皆さんのお腹に!

組合では、車に乗せたままの野菜を販売する20数件の組合員の皆さんの、丹精込めた旬の野菜や花など新鮮な農産物や農産加工品が売られる一方、子どもたちはすいか割などのイベントで一足早い夏を満喫しました。